



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 日本化成株式会社

コード番号 4007 URL <http://www.nkchemical.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 中村 英輔

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 関 信哉

TEL 03-5540-5861

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	17,237	0.8	614	119.3	903	85.4	583	61.9
26年3月期第2四半期	17,100	15.3	280	—	487	—	360	—

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 641百万円 (68.2%) 26年3月期第2四半期 381百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	5.55	—
26年3月期第2四半期	3.43	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		%
27年3月期第2四半期	33,887		12,192			36.0
26年3月期	34,870		12,116			34.7

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 12,192百万円 26年3月期 12,116百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,500	1.8	1,250	37.4	1,600	11.0	850	14.6	8.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	105,115,800 株	26年3月期	105,115,800 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	34,194 株	26年3月期	30,928 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	105,083,151 株	26年3月期2Q	105,085,894 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

(説明資料) 平成27年3月期 第2四半期決算概要

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動等から、生産面を中心に弱めの動きがみられるなど、景気回復の足取りにもたつき感が見られ、海外経済についても、米国経済の回復が継続する一方、ユーロ圏、新興国経済が全体として勢いを欠き、新たな地政学的緊張も加わる中で、回復力が鈍る等先行き見通し難い状況で推移しました。

このような状況下、当社グループは、新中期経営計画「NKC-Plan2015」のメインテーマである「安定的な収益基盤の実現」に向け全社挙げて各種経営諸施策に心血を注いでまいりました。

こうした中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、第1四半期に引き続き、ホルマリン・木材加工用接着剤、合成石英粉、電子工業用高純度薬品、紫外線硬化性樹脂、エンジニアリング事業などが概ね堅調に推移したことに加え、昨年極めて厳しい状況にあったアンモニア系製品のマイナス幅が縮小したこと等から、前年同期比大幅な増収・増益となりました。

具体的には、当第2四半期連結累計期間の売上高は17,237百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は614百万円（前年同期比119.3%増）、経常利益は903百万円（前年同期比85.4%増）、四半期純利益は583百万円（前年同期比61.9%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## (無機化学品事業)

アンモニア系製品は、硝酸は主要顧客向け販売が回復したものの、前年同期は液体アンモニアの大ロススポット需要があったこと等により、販売数量、売上高とも減少しました。合成石英粉は、第2四半期に入り一部顧客の在庫調整の影響等もあり販売数量、売上高ともほぼ前年同期並みとなりました。ディーゼル車脱硝用高品位尿素水

(AdBlue®)は、市場競争の激化が継続する中、拡販努力等により販売数量、売上高とも増加しました。電子工業用高純度薬品は、販売数量は前年同期並みとなりましたが、ウェハー用途向けが引き続き堅調であったことから、売上高は増加しました。

その結果、全体の売上高は8,358百万円（前年同期比5.6%減）となりました。

## (機能化学品・化成品事業)

紫外線硬化性樹脂は、光学フィルム向け需要が引き続き好調であったことから、売上高が増加しました。TAIC®（ゴム、プラスチック架橋助剤）、脂肪酸アマイドは、主要顧客向けの販売が減少したこと等から、販売数量、売上高とも減少しました。

メタノールは、販売数量はほぼ横ばいとなりましたが、国際市況が昨年に比べ高値ポジションにあったこと等もあり、売上高は増加しました。ホルマリン及び木材加工用接着剤は、主要顧客の需要が引き続き堅調に推移したことにより、販売数量、売上高とも増加しました。

その結果、全体の売上高は6,399百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

## (エンジニアリング事業)

一般プラント工事受注拡大等により、売上高は1,746百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

## (その他)

貨物運送・荷役事業は、主要顧客向け需要にばらつきが見られる中で、ほぼ前年同期並みとなりました。有機溶剤等の蒸留・精製業は、一部主要顧客の需要回復等により増収となりました。

その結果、全体の売上高は649百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比し983百万円減少し、33,887百万円となりました。これは、主にたな卸資産及び有形固定資産等が増加したものの、売上債権及び流動資産のその他等が減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比し1,095百万円減少し、21,695百万円となりました。これは、主に退職給付会計基準の改正に伴い、退職給付に係る負債等が増加したものの、仕入債務等が減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比し76百万円増加し、12,192百万円となりました。これは、主に四半期純利益等の増加が支払配当金及び退職給付会計基準の改正の影響による利益剰余金等の減少を上回ったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は36.0%（前連結会計年度末は34.7%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、去る平成26年10月23日「業績予想の修正に関するお知らせ」において発表いたしましたとおり、アンモニア系製品が販売数量の減少等により厳しい状況となりましたが、他の事業につきましては、全体的に当初想定以上に推移したこと等から、営業利益、経常利益及び四半期純利益について、平成26年5月13日の業績予想発表時点の数値を上回る結果となりました。

一方、今後の見通しにつきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動等の影響が次第に和らぎ、日本経済は緩やかな回復過程を辿るものと想定されておりますが、ユーロ圏、新興国経済の減速懸念を始めとする諸リスクを抱え、世界景気の先行き不透明感が払拭しきれない状況にあります。

こうした中で、平成27年3月期通期連結業績予想につきましては、当社関連需要の先行き、為替の急変動、主要原燃料価格の推移等、諸要因の動向をより慎重に見極める必要がありますことから、平成26年5月13日に発表した内容から変更しておりません。

なお、今後の状況変化に伴い見直しが必要となった場合には、速やかに開示致します。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

## (退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を、割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が550百万円増加し、利益剰余金が355百万円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,366	1,421
受取手形及び売掛金	9,409	8,627
商品及び製品	2,930	2,775
仕掛品	1,052	1,762
原材料及び貯蔵品	1,404	1,118
その他	2,153	1,191
貸倒引当金	△61	△14
流動資産合計	18,253	16,880
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,194	3,169
機械装置及び運搬具(純額)	1,811	1,912
土地	4,931	4,919
建設仮勘定	372	494
その他(純額)	177	200
有形固定資産合計	10,485	10,694
無形固定資産		
その他	67	79
無形固定資産合計	67	79
投資その他の資産		
その他	6,081	6,249
貸倒引当金	△16	△15
投資その他の資産合計	6,065	6,234
固定資産合計	16,617	17,007
資産合計	34,870	33,887

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,400	5,072
短期借入金	9,167	9,207
未払法人税等	71	34
賞与引当金	285	282
その他	2,883	2,809
流動負債合計	18,806	17,404
固定負債		
長期借入金	399	295
役員退職慰労引当金	89	50
退職給付に係る負債	3,359	3,845
その他	101	101
固定負債合計	3,948	4,291
負債合計	22,754	21,695
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593	6,593
利益剰余金	5,609	5,627
自己株式	△6	△6
株主資本合計	12,196	12,214
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57	78
退職給付に係る調整累計額	△137	△100
その他の包括利益累計額合計	△80	△22
純資産合計	12,116	12,192
負債純資産合計	34,870	33,887

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	17,100	17,237
売上原価	14,356	14,144
売上総利益	2,744	3,093
販売費及び一般管理費	2,464	2,479
営業利益	280	614
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	160	213
持分法による投資利益	32	27
受取賃貸料	23	59
その他	47	43
営業外収益合計	262	342
営業外費用		
支払利息	44	40
その他	11	13
営業外費用合計	55	53
経常利益	487	903
特別損失		
減損損失	—	50
固定資産処分損	—	47
特別損失合計	—	97
税金等調整前四半期純利益	487	806
法人税、住民税及び事業税	44	60
法人税等調整額	83	163
法人税等合計	127	223
少数株主損益調整前四半期純利益	360	583
四半期純利益	360	583



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	360	583
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	22
退職給付に係る調整額	—	37
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△1
その他の包括利益合計	21	58
四半期包括利益	381	641
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	381	641
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	487	806
減価償却費	338	379
減損損失	—	50
固定資産処分損益 (△は益)	—	47
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7	△3
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	101	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4	△39
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6	△48
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△6
受取利息及び受取配当金	△160	△213
支払利息	44	40
持分法による投資損益 (△は益)	△32	△27
固定資産除却損	4	4
売上債権の増減額 (△は増加)	1,660	782
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△361	△269
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	55	△213
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,065	△1,328
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	122	103
その他	3	△14
小計	1,187	51
利息及び配当金の受取額	169	227
利息の支払額	△47	△40
災害損失の支払額	△2	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	46	△45
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,353	193
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△214	△862
有形固定資産の売却による収入	321	19
無形固定資産の取得による支出	△25	△14
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	200	1,000
長期前払費用の取得による支出	△12	△13
その他	1	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	271	130

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,030	40
長期借入金の返済による支出	△143	△104
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△210	△209
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,383	△273
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	242	55
現金及び現金同等物の期首残高	1,382	1,366
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,624	1,421

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	無機化学品 事業	機能化学 品・化成品 事業	エンジニア リング事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	8,857	5,943	1,603	16,403	626	17,029	71	17,100
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	51	13	64	157	221	△221	—
計	8,857	5,994	1,616	16,467	783	17,250	△150	17,100
セグメント利益	27	173	83	283	30	313	△33	280

(注)1. 「その他」の区分は、貨物運送・荷役事業、有機溶剤等の蒸留・精製業であります。

当第2四半期連結累計期間において、「その他」に含まれている「貨物運送・荷役事業」の外部顧客への売上高は572百万円、セグメント利益は41百万円であります。

2. セグメント利益の調整額

	金額(百万円)
電気及び蒸気の販売による利益	0
その他の調整額※1	80
全社費用※2	△113
合計	△33

※1. その他の調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない全社資産に係るもの及び各報告セグメントに配分していない原価差額であります。

※2. 全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費の予定配賦額と実績発生額との差額及び報告セグメントに帰属しない一般管理費、研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	無機化学品 事業	機能化学 品・化成品 事業	エンジニア リング事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	8,358	6,399	1,746	16,503	649	17,152	85	17,237
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	59	14	73	169	242	△242	—
計	8,358	6,458	1,760	16,576	818	17,394	△157	17,237
セグメント利益	301	300	27	628	40	668	△54	614

(注) 1. 「その他」の区分は、貨物運送・荷役事業、有機溶剤等の蒸留・精製業であります。

2. セグメント利益の調整額

	金額 (百万円)
電気及び蒸気の販売に よる利益	0
その他の調整額※1	60
全社費用※2	△ 114
合計	△ 54

※1. その他の調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない全社資産に係るもの及び各報告セグメントに配分していない原価差額であります。

※2. 全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費の予定配賦額と実績発生額との差額及び報告セグメントに帰属しない一般管理費、研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

全社資産である賃貸用資産について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては50百万円であります。

平成27年3月期 第2四半期決算概要

1. 連結業績

[単位:百万円]

	当第2四半期 連結累計期間 (H26.4.1- H26.9.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H25.4.1- H25.9.30)	増減	
			金額	率
売上高	17,237	17,100	137	0.8%
営業利益	614	280	334	119.3%
金融収支	173	116	57	※1
その他営業外	89	59	30	※2
持分法損益	27	32	△5	
経常利益	903	487	416	85.4%
特別損益	△97	-	△97	※3
税引前利益	806	487	319	65.5%
四半期純利益	583	360	223	61.9%
1株当たり四半期純利益	5円55銭	3円43銭		

※1 金融収支の主な内訳

	H26/9	H25/9	差
受取配当金	213	160	+53
支払利息	△40	△44	+4

※2 その他営業外差異主な内訳

	H26/9	H25/9	差
受取賃貸料	59	23	+36

※3 特別損益主な内訳

	当第2四半期	前年同四半期
減損損失 (注1)	△50	-
固定資産処分損 (注2)	△47	-
計	△97	-

(注1) 賃貸用資産  
(注2) 賃貸用資産撤去費

①セグメント別売上高 (連結)

		当第2四半期 連結累計期間 (H26.4.1- H26.9.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H25.4.1- H25.9.30)	増減
報告 セグメント	無機化学品	8,358	8,857	△499
	機能化学品・化成品	6,399	5,943	456
	エンジニアリング	1,746	1,603	143
その他		649	626	23
調整額		85	71	14
計		17,237	17,100	137

AdBlue®は拡販努力、EL薬品はUIA用途向けの堅調、硝酸は主要顧客向け販売の回復により、それぞれ増収となり、合成石英粉は前年同期並みとなるも、昨年は液体アミンの大口スポット需要があったこと等により、対前年同期比減収  
紫外線硬化性樹脂は光学フィルム向け需要が好調であったこと、タノールは販売数量は横ばいであったものの国際市況が昨年に比べ高値ポジションにあったこと、ホルミン・木材加工用接着剤の需要が引き続き堅調に推移したこと等により、対前年同期比増収  
一般プラント工事受注拡大等により、対前年同期比増収  
貨物運送・荷役事業はほぼ前年同期並みとなるも、有機溶剤等の蒸留・精製業は一部主要顧客の需要回復等により若干増収となり、対前年同期比微増  
上記セグメントに属さない電気・蒸気等のコーポレート部門の売上高を調整額として表示

②セグメント別営業利益 (連結)

		当第2四半期 連結累計期間 (H26.4.1- H26.9.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H25.4.1- H25.9.30)	増減
報告 セグメント	無機化学品	301	27	274
	機能化学品・化成品	300	173	127
	エンジニアリング	27	83	△56
その他		40	30	10
調整額		△54	△33	△21
計		614	280	334

合成石英粉、EL薬品が比較的堅調に推移したことに加え、昨年極めて厳しい状況にあったアミン系製品のマイナス幅が縮小したこと等から、対前年同期比増益  
紫外線硬化性樹脂は光学フィルム向け需要が好調であったこと、タノール及びホルミン・木材加工用接着剤の需要が引き続き堅調に推移したこと等により、対前年同期比増益  
一般プラント工事受注拡大等により増収となるも、前年度に比べ利益率の高い受注案件が減少したこと等により、対前年同期比減益  
貨物運送・荷役事業は車両更新による経費増等により若干減益となるも、有機溶剤等の蒸留・精製業は一部主要顧客の需要回復等により収益が改善し、対前年同期比増益  
原価差額及び上記セグメントに属さない電気・蒸気等のコーポレート部門の損益を調整額として表示 (含みらいプロジェクト開発費用 H26第2Q △83 H25第2Q △79)

2. 連結比較貸借対照表

	当第2四半期 連結会計期末 (H26.9.30)	前連結会計 年度末 (H26.3.31)	増減		当第2四半期 連結会計期末 (H26.9.30)	前連結会計 年度末 (H26.3.31)	増減
現預金	1,421	1,366	55	有利子負債	9,502	9,566	△64
売上債権	8,627	9,409	△782	仕入債務	5,072	6,400	△1,328
たな卸資産	5,655	5,386	269	その他負債 ※2	7,121	6,788	333
固定資産(有形・無形)	10,773	10,552	221	株主資本 ※3	12,214	12,196	18
投融資等	6,234	6,065	169	その他の包括利益累計額 ※4	△22	△80	58
その他資産 ※1	1,177	2,092	△915				
資産合計	33,887	34,870	△983	負債・純資産合計	33,887	34,870	△983

(注) 自己資本＝純資産－少数株主持分  
D/EVは有利子負債／自己資本

自己資本	12,192	12,116	76
自己資本比率	36.0%	34.7%	1.3%
有利子負債	9,502	9,566	△64
D/EVは	0.78	0.79	△0.01

- ※1 増減内訳：短期貸付金 △1,000、その他流動資産等 +85
- ※2 増減内訳：退職給付に係る負債 +486、その他流動負債等 △153
- ※3 退職給付会計基準改正による影響△355を含む
- ※4 増減内訳：退職給付に係る調整累計額 +37、その他有価証券評価差額金 +21

### 3. 連結キャッシュ・フロー

	当第2四半期 連結累計期間 (H26.4.1- H26.9.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H25.4.1- H25.9.30)
営業活動によるCF	193	1,353
投資活動によるCF	130	271
フリー・キャッシュ・フロー	323	1,624
財務活動によるCF	△273	△1,383
現金及び現金同等物に 係る換算額	5	1
現金及び現金同等物の 増減	55	242

税引前利益 806、売上債権の減少額 782、減価償却費 379  
仕入債務の減少額 △1,328、たな卸資産の増加額 △269、その他の流動資産の増加額等 △177  
短期貸付金の減少額 1,000、設備投資 △889、有形固定資産の売却による収入等 19  
配当金の支払 △209、借入金の返済等 △64

### 4. 連結通期業績予想

(平成26年5月13日発表)

	27年3月期	26年3月期	増減	
	予想	実績	金額	率
売上高	37,500	36,829	671	1.8%
営業利益	1,250	910	340	37.4%
経常利益	1,600	1,441	159	11.0%
特別損益	△300	△380	80	
税引前利益	1,300	1,061	239	22.5%
当期純利益	850	742	108	14.6%
1株当たり当期純利益	8円09銭	7円06銭		
1株当たり配当金(期末のみ)	2円	2円		

#### ①セグメント別売上高

		27年3月期 予想	26年3月期 実績	増減	
報告セグメント	無機化学品	17,800	17,706	94	小名浜工場硝酸系製造の終了に伴う販売減をAdBlue®、合成石英粉等の拡販努力により補い前年同期並み
	機能化学品・化成品	13,500	12,536	964	ルマリソ・木材加工用接着剤が引き続き堅調に推移すること等により増収
	エンジニアリング	4,800	5,173	△373	一般プラント工事受注減等により減収
	その他	1,250	1,262	△12	
調整額		150	152	△2	上記セグメントに属さないコーポレート部門の売上高を調整額として表示
計		37,500	36,829	671	

#### ②セグメント別営業利益

		27年3月期 予想	26年3月期 実績	増減	
報告セグメント	無機化学品	700	270	430	硝酸製造の黒崎集約化による効果及びAdBlue®、合成石英粉等の販売数量増により増益
	機能化学品・化成品	450	333	117	ルマリソ・木材加工用接着剤が引き続き堅調に推移すること等により増益
	エンジニアリング	150	321	△171	一般プラント工事受注減等により減益
その他		50	51	△1	
調整額		△100	△65	△35	上記セグメントに属さないコーポレート部門の損益を調整額として表示
計		1,250	910	340	